



《発行》
神戸鈴蘭台高校
編集部

自粛期間中でのそれぞれの想い

「自分の学習の時間が取れた」



山登りが趣味の編集部員が気分転換のため登った須磨馬の背。緊急事態宣言発令後はこういった息抜きさえ出来なくなった。(4月2日撮影)

5月21日、4月7日に発令された緊急事態宣言が解除。

本校では授業再開までに登校日が各学年2日設けられることが5月18日に発表され、6月1日からは分散登校での授業が再開。その後、6月15日からは完全再開となった。

県内でもコロナウイルス感染症の新規患者が0人の日が1ヶ月続くなど、混乱した状態もようやく収束の目処が立ってきているように見える。しかし、東京では連日100人を超える

感染者が出続けており、第2波、第3波とさらなる流行の可能性もある。まだしばらくは警戒しながらの生活を送るしかないのだろう。

今号では休校中号外に引き続き、休校期間中から分散登校中の生徒の様子や完全再開後の声、様々な生活への影響など取材した。さらに、ベルスト鈴蘭台にある薬局でマスクの入荷状況を聞いた。蒸し暑い日の登校時はとくに、マスク着用による熱中症の心配もある。エチケットと

久々の友との再会に笑顔あふれる

緊急事態宣言が兵庫県を含む近畿3府県で5月21日に解除された。さらに5月25日には東京都などの首都圏や北海道でも解除され、全面解除となった。本校では授業再開までに登校日が各学年の日にちが異なるように2日間設定され、出席番号の奇数、偶数で午前、午後に分かれて登校した。4月の登校日から長い期間が空き、久しぶりに友達との再会した生徒たちが、楽しそうに会話をする様子がよく見られた。この日には、健康チェックや学習の取り組みが確認されたり、課題回収や3月に行われる予定だったスタディーサポートが実施されたりした。

その後6月1日からは、授業が再開された。ただし、感染症予防のため、密閉・密集・密接いわゆる「3密」を避けた分散登校となった。出席番号の奇数と偶数が1日おきに登校し、2週間で1週間分の授業を受けることになった。

受験への不安や生活習慣の乱れも

受験生の高校生3年生は、センター試験から、共通テストに変わる年でもあり、不安を抱えている生徒も多い。学校の課題が分からなくて、思っていたとおりに進められない、受験に間に合うのかという不安の声が多かった。他にも、昼夜逆転などの生活習慣が乱れてしまったという生徒も少なくなかった。

出来ることを前向きに取り組む人も

しかし、そんなネガティブな声ばかりではない。塾で授業を受けたり、自宅で過去に習った部分の復習などに時間を使っていたりし、「自分のペースで学習の時間が取れて、良かった」と前向きにこの期間をとらえている生徒もいた。

自宅でもっている、ストレスが溜まったり、運動不足になるので3密を避け、定期的に散歩をしたり、山に登ったり、自転車を漕ぎリフレッシュをしている生徒も多い。

休業要請解除後も仕事に影響

兵庫県は緊急事態宣言発令後の4月15日に休業要請を出し、5月23日0時に一部を除き大幅に解除した。ホテルで調理師をされている保護者に話を聞くと、「6月上旬までホテルの休業が続いて、ずっと休みだった」と話す。また、運送業の方は、「逆に忙しくなった。マスク着用や検温などの対策をしながら仕事をしているけど、マスクしてない人とかいるので不安」と言う。他にも営業職では、「出勤はするが人数を減らし、会議などがテレビ電話ですることが多くなった」と話す。

ベルスト鈴蘭台にあるオーエスドラッグでは、マスクの品薄は続いているが、メーカーなどの増産により、流通量が増え以前より購入しやすくなっている。ただ、安定した供給量にはまだなっていないという。

6月15日(月)に学校が完全再開され、3週間が経った。そこで休校明けの現在の生活について、各学年で取材した。学校生活を前向きにとらえている声が多く聞けた。

- ・友達が増えた。部活も学校生活は楽しい。(1年 男子)
- ・今までダラダラしていた生活をしていたため、学校が始まって体や勉強が辛い。しかし、学校が始まったおかげで、規則正しい生活になった。(1年 男子)
- ・学校が始まり、授業と部活が両方あるため、勉強の予習・復習が十分にできない。友達はできた。今も友達を増やすために頑張っている。(1年 女子)

・長い休校明けということもあり周りの人たちと久しぶりに会ってそれまで自分が感じていた一人一人のイメージとまた違った一面に目を向ける機会が増えた。学校生活は、しんどいと思うことが多い。でもコロナ休み前の当たり前の日常が少しずつ戻ってきていることに平和を感じた。(2年 女子)

・久しぶりの登校で長い坂を登り、こんなしんどかったっけ?と思った。最初は授業についていけるか不安だったが、何とか頑張っている。部活動では、コロナの影響により全く練習が出来ていなかったのが久々に部活動が再開されて、少しの練習でも無駄にしないように頑張ろうと思えるようになった。久しぶりの部活は楽しい!(2年 女子)

・休校期間中は学校に行きたかったけど、いざ始まると疲れがたまってしまった。分散登校中は部活ができる日が限られているから、塾に行く日数や時間が増えた。(3年 男子)

・部活動の引退前に練習が出来なくなったのが残念だった。例年と比べて1年生と接する機会が少なくなったのが残念だった。(3年 女子)

・課題が終わっていないので学校に行きたくなかったけど、久しぶりに友達に会って学校に毎日行きたいと感じ始めた(3年 男子)

完全再開から3週間
しんどい、でも学校っていいな